

## 第3回むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会議事録概要

日 時：2020年（令和2年）10月28日（水）13:00～14:30

場 所：公済会館 大ホール

出席者：会議資料6 委員・顧問席図参照

### 1. 開会

第3回むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会の開催宣言

### 2. 前回議事録の確認

前回議事録概要は承認され、むつ総合病院のホームページへ掲載を予定

### 3. 前回からの検討課題について

#### (1) 病床数と病棟機能について

資料2を用いて、【病床数と病棟機能について】の説明を実施

一般病床数を330床から346床の間で計画することに修正する。

内訳としては、感染症病床が4床から10床、総合診療（救急病床）を10床から20床の間での設定である。

#### (2) 新病棟想定規模について

資料3を用いて、【新病棟想定規模について】の説明を実施

病床数の幅を待たせたことによって、6階建てが7階建てになる可能性がある。

新病棟の想定規模（面積）は、22,600平方メートルから27,400平方メートルに修正する。

#### (3) 質疑事項

##### 【病床数と病棟機能について】

- （規模を変えないで）個室や4床室を増やすことが難しい旨を議事録に記載していただきたい。

##### 【新病棟想定規模に対する質疑】

- 特になし

#### (4) その他課題事項について

「地域包括ケアを巡るの部会設置」および「口腔ケアのスペース設置」に関しては、継続的な検討課題とする。

新病棟の耐用年数は、40年から50年が一般的であるが、今回の新病棟については、50年以上使用することを目安として計画する。

## 4. 議事

### (1) むつ総合病院新病棟建設 基本計画素案 (パート2)

資料4およびパワーポイントを用いて説明を実施

#### ③部門別施設計画

新病棟に備える部門は、基本的には、現病棟にある機能に加え、迅速な対応が必要な部門間の連携を考慮し、救急外来、中央手術部は新病棟に集約する。部門別施設計画は、これら各部門の基本方針、業務機能、施設計画、特記事項などの基本的な内容を説明する。

なお、今後の事業進展の中で、既存の外来棟に設置するということもあり得るものである。

#### 1 病棟部門・入院病棟

- ・一般病床の病床数は、330～346床、今後の状況変化に応じて機動的に対処する。
- ・回復期リハビリテーション病棟の新設と新病棟に感染症病床を設置する。
- ・4床室と1床室（個室）で構成する。（一部2床室）将来の医療需要の変化に対応すべく4床室を個室に変更可能な計画とする。
- ・個室率は40%程度とし、1病棟は、50床程度で計画する。
- ・病室内にトイレ、シャワー、洗面台などを備える。
- ・感染症病床は、第二種感染症病室の施設基準に準拠した施設（全室陰圧個室）として、搬送用エレベーターに近い位置に設置し、感染制御のしやすい環境・動線を確保する。

#### 2-1 診療支援部門・中央手術部

- ・手術室は、7室を予定する。高度・専門医療や低侵襲な内視鏡下手術に対応できる手術室とし、他部門との効率的な動線を考慮した適切な配置とする。

#### 2-2 診療支援部門・集中治療室

- ・集中治療室は、6床を予定する。手術部門と同一フロアに配置すると同時に、外来部門、救急、病棟部門との緊密な連携を実施できる施設とする。

#### 2-3 診療支援部門・救急診療科

- ・ER方式による初期から二次（一部三次）の救急患者を各科専門医と協力して、初期治療から入院後の高度な専門医療を総合的に実施できる施設とする。
- ・災害発生時における地域の災害医療の中核としての機能を担う施設とする。

#### 2-4 診療支援部門・薬剤科

- ・薬剤業務の効率化と調剤ミスの防止を目的に注射薬自動払出システム（アンプルピッカー）を導入する。
- ・病棟薬剤業務を拡大するため、各病棟に病棟薬局を設置する。
- ・化学療法室は、薬剤科に隣接して配置する。

#### 2-5 診療支援部門・リハビリテーション科

- ・高度急性期から急性期、回復期、維持期までのリハビリテーションが提供可能な「ケア・ミックス型体制の構築」が可能な施設とする。
- ・急性期病床、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟と連携を高め、患者

のアプローチのしやすい計画とする。

#### 2-6 診療支援部門・R I 検査室

- ・医療被ばくの低減に努め、安心して質の高い放射線診療を提供できる施設とする。
- ・高度医療、救急医療への迅速な対応等に、必要な高度診療機器を充実させる。

#### 2-7 診療支援部門・臨床工学科

- ・MEセンターは、中央手術部や集中治療部、血液浄化センターへの動線に配慮し、1か所に集約して設置する。

#### 2-8 診療支援部門・臨床病理科（剖検室）

- ・剖検室と霊安室の間に遺体安置室を設け、部門内部での動線を確保する。
- ・感染及びホルマリン対策に対応した設備とともに、研修教育の場としての機能を確保する。

#### 2-9 診療支援部門・化学療法室

- ・化学療法室は、10床程度を予定する。なお、将来の増床を想定した配置とする。
- ・治療環境の充実を図る目的で、電動ベッドやリクライニングチェアを設置する。

#### 2-10 診療支援部門・中央材料室

- ・全ての再生滅菌物は、原則院内で滅菌が可能な施設を設置する。
- ・手術室に隣接して配置する。供給物品及び使用済み物品動線は、分けて洗浄室と連携する配置とする。なお、手術器材のセット化し、業務の標準化が可能な施設とする。

### 3 栄養部門・栄養管理科

- ・入院患者の給食提供は、ニュークックチル方式を導入することにより、食の安全性確保と作業の効率化が可能な施設とする。厨房内の計画は、H A C C Pの基準に準拠する。
- ・給食専用エレベーターを設置する。

#### 4-1 その他の部門・入退院支援センター

- ・病床を一括で管理し、患者の入院から退院までの一連の業務をスムーズに実施する部門として、新たに入退院支援センターを新設する。

#### 4-2 その他の部門・SPDセンター

- ・病院内で使用する医療材料や医薬品を一括管理、供給し、安全快適に看護、診療が出来る環境を整備することを目的として、SPDセンターを設置する。
- ・災害拠点病院として、災害時用物品の保管庫も整備する。

#### 4-3 その他の部門・院内保育所

- ・職場環境の向上を目的に、院内保育所を設置する。
- ・病院職員の子どもに対する保育サービス（病児保育及び病後児保育を含む）を中心として、検討しているが、地域住民枠の設置は、今後の課題である。

#### 4-4 その他の部門・コントロールセンターと機械室

- ・患者や来院者にとって良好な療養環境、医療スタッフにとって良好な医療環境を提供可能な施設を整備する。設備機器は、維持管理費の抑制を図るため、安定性、経済性、保

守性を十分に考慮し、省エネルギーの観点から効率的なシステムを検討する。

#### 4-5 その他の部門・院内学級

- ・第二田名部小学校、田名部中学校と連携し、一人一人の児童生徒の状態に応じて、小・中学校に準じた教育の提供が可能な施設を整備する。

#### 4-6 その他の部門・利便施設

患者並びに付き添いの方が憩いのひとときを持てることを目的として、利便施設を設置する。なお、金谷公園に面して配置することにより、公園利用者にも開放する。

#### 4-7 その他の部門・共用施設

- ・入院時に快適に過ごせる療養環境の提供を目的として、広い病室や広い廊下、洋式トイレ、シャワーの設置・面談室・エレベーターの専用化を計画する。
- ・外来時の快適に過ごせる療養環境の提供を目的として、駐車場の拡張、外来待合の整備やアメニティの充実を整備する。
- ・職員の勤務環境の充実として、シャワー室を備えた更衣室やコミュニケーションを誘発するスタッフ交流の場などの共用施設を整備する。

### ④医療機器整備計画

- ・医療機器は、必要性等を見極め、メリハリをつけて購入する。
- ・新設もしくは増設する医療機器は、基本構想の実現への貢献度によって選択する。
- ・現在使用している医療機器は、新病棟に移設して継続に使用することを原則とする。
- ・初期投資と保守費用のトータルコスト削減のために、原則、メーカーや機種指定は行わず、初期投資と保守費用を合わせた仕様による入札を実施する。
- ・概算整備費は、約27億円とする。
- ・主な医療機器は、資料に示している通りである。

### ⑤概算事業費

概算事業費は、類似施設の床面積と工事費を参考に、約162億円から最大187億円と試算している。今後の事業の進展に伴って、精査に努めていく予定である。

### ⑥整備手法・管理運営手法の検討

#### 1 整備手法の検討

整備手法（工事発注方式）としては、3方式を提案する。

- ・設計・施工分離発注方式は、一般的な工事発注方式である。
- ・設計・施工一括発注方式（デザインビルド方式）は、施工者の技術力のノウハウを活用でき、発注者のリスク低減を目的とした方式であるが、コスト優先度が高くなる結果からの品質低下や発注者要望の反映の制限がかかるというリスクがある。
- ・E C I 発注方式は、事前に施工業者を選定し、実施設計段階から施工業者の技術を反映する方式である。設計施工期間の短縮と施工業者の技術を取り入れた設計ができる反面、競争原理が働かず、工事費が高止まりする可能性がある。

・整備方法に関しては、今後、基本設計を始める前までに決定する。

## 2 運営管理手法の検討

医療行為以外の医療関連業務や施設運営業務などの委託業務の包括的アウトソーシングを提案する。(民間事業者の技術等の利活用)

メリットとしては、「業務管理、支払業務、契約業務の管理業務の効率化」、「業務作業職員の教育、そして研修体制の標準化」、「業務担当者間の情報伝達の精度向上」、「横断的業務連携の強化」、スケールメリットの拡大による委託費用の削減」である。

複数年契約を実施することによって、業務の質の確保やコストの削減も期待できる。

## (2) 質疑及び意見事項

### 【基本計画素案パート2全体を通しての質疑】

#### 1) 「部門別施設計画」に対する質疑

##### ① 「病棟部門」との関連

###### (一般病床・病床数)

- 病床数の増加は、働く職員の増員も必要となる。将来的に医療職の確保が可能かという不安がある。建物だけではなくて、働く人のことも地域で考えて欲しい。

回答⇒病院だけの問題ではなくて、地域全体で考える問題だと認識している。

###### (感染症病床)

- 新病棟に感染症外来も入るのか。感染症外来と感染症病床の動線はどうなる予定か。

回答⇒感染症外来も設置し、感染症病床と一体運営する。動線は極力短くする。

##### ② 「診療支援部門」との関連

###### (薬剤科)

- 病棟でのチーム医療のために、各病棟への病棟薬局設置は、良い取り組みである。
- 病棟薬剤師に期待している。

###### (リハビリテーション科)

- 病棟でのチーム医療のために、病棟リハが主流である。

###### (化学療法室)

- 化学療法室に隣接して、共用スペースや会議室を設置し、将来の拡張スペースを確保することが望ましい。化学療法患者は増えており、青森県立中央病院でも整備後1～2年で2倍にする必要があった。

##### ③ 「栄養部門」との関連

- ニュークックチル方式は、青森県内で導入している施設が無いと思われる。このシステムを導入することによって、良い効果を期待する。

#### ④「その他の部門」との関連

##### (入退院支援センター)

- むつ総合病院と他の医療施設や社会福祉施設との連携が非常に大事になり、機能の充実なども求められてくると考えられる。個室などの設置も必要ではないか。

##### (院内保育所)

- 青森県内の公立病院でも地域住民枠を設置しているところがある。運営の状況などを聞いて、今後の検討の参考にしたら良いのではないか。
- 病気で長く休んだ子供の勉強を見てくれる施設は、すごく有難い。

##### (利便施設)

- 金谷公園に面して配置し、公園利用者に開放するという事は、非常に良いコンセプトである。是非実現できるようにしていただきたい。

##### (共用施設)

- 入院患者の療養環境の中でシャワーはあるが、入浴室に関してはどのようになっているのか。また、職員の勤務環境として、更衣室や看護師の休憩室は設置されるか。また、清掃業者等の委託業者の更衣室や休憩室の設置されるのか。

回答⇒個別に具体的な内容は決まっていない。職員の勤務環境としては、談話室的スペースの設置も考える。具体的には、設計の段階で、詳細検討する。

#### 2)「医療機器等整備計画」に対する質疑

- 個人向けPHSの販売が今年から中止になっており、企業向けPHSも将来販売中止の可能性がある。今後、スマートフォンを院内PHSの代わりにし、モニターとの情報の共有も含めて、検討することも必要である。

回答⇒今後、協議する。

#### 3)「概算事業費」に対する質疑・意見

- 事業費は、その時々的情勢によって、変動するものと考えている。最も重要なのは、整備する財源をどのようにするのかということである。財源の構想を市民や地域住民に、明らかにして、心配をなくす必要がある。現時点での構想をお聞かせ願いたい。

回答⇒次回、可能ならば、報告する。

- 医療情報システム整備費は、電子カルテのことか。「えがお・つながる・医療の拠点」という、テーマの元、下北地域保健医療圏域の他の医療機関、薬局、歯科などと連携できるような電子カルテの整備をお願いしたい。

回答⇒電子カルテの費用として、7億円を見込んでいます。電子カルテの整備において、連携ということ踏まえて検討する。

#### 4) 「整備手法・管理運営手法の検討」に対する質疑・意見

##### ① 「整備手法」との関連

特になし

##### ② 「管理運営手法」との関連

- 包括的アウトソーシングのデメリットは何か。

回答⇒包括受託が出来る業者が、地域（むつ市・青森県）に存在するか否かが大きな問題である。包括的アウトソーシングを成立させるための大きなポイントになる。さらに、下北医療センターあるいはむつ市として、複数年契約を結ぶことができるということも一つのポイントになる。

- 現在、むつ総合病院では、こういう考え方は採用しているのか。

回答⇒施設維持管理業務（コントロールセンター）で、包括的に委託している部分がある。今回の提案を受けて、どの程度の業務範囲を対象にするか検討する。  
⇒効率的な、能率的な、合理的な方法を模索していく必要がある。

#### 5) 「その他」に対する質疑・意見

- 建設予定地の選定について、他の案もあったのでしょうか。

回答⇒建設予定地については3案ございました。将来を見据えて今の位置になった経過があります。

- 設計業者によっては、外見だけを重視する考え方をする場合もある。丸投げせず、しっかりとした考え方で、設計していただきたい。外見よりも中身が非常に大切である。

- むつ市民や下北の住民は、新病棟が建つことを知っているのか。新聞等に、新病棟の広報記事を発表したらどうか。「むつ総合病院だより」にも、コロナばかりでなく、新病棟の建設のことを掲載することは、むつ総合病院におけるメリットである。

回答⇒これからの色々なプロセスを経たうえで、市民の方に広報やお知らせしていくことを検討している。

⇒広報活動をもう少し丁寧に行わせていただきたい。

- 50年先を見据えての新しい病棟であり、医師や医療スタッフが使いやすい病院にして欲しい。入院患者や外来患者が快適に過ごせる施設になるように工夫していただきたい。

#### 5. その他

第4回むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会の開催案内

日時：2020年（令和2年）11月25日（水曜日）午後1時から3時

会場：公会館 大ホール

内容：新病棟建設における基本構想・基本計画全体案の検討

パブリックコメントの実施方法の検討

#### 6. 閉会

第3回むつ総合病院新病棟建設基本構想・基本計画策定委員会の閉会宣言

以上